



令和3年8月27日

主催：東京湾再生推進会議モニタリング分科会  
九都県市首脳会議環境問題対策委員会水質改善専門部会  
東京湾岸自治体環境保全会議  
東京湾再生官民連携フォーラム東京湾環境モニタリングの推進プロジェクトチーム  
後援：一般社団法人 日本経済団体連合会

## 東京湾環境一斉調査を実施します

(東京湾における流域及び海域の環境一斉調査)  
～参加機関等のお知らせ～

令和3年度の東京湾環境一斉調査には、企業や市民団体を含む、合計115機関から参加表明をいただきました。参加機関一覧は別紙をご覧ください。

参加機関の皆様は、調査日の気象・海象状況等に応じて安全な行動をお願いいたします。詳細な実施方法等につきましては、お申込みいただいた窓口からご連絡いたします。

### 1 調査概要（水質調査）

- ・実施基準日 令和3年9月16日（木）  
予備日 令和3年9月22日（水）
- ・調査内容 東京湾の海域又は流域河川において、次の項目等の調査を実施  
【海域】水温、塩分、溶存酸素量（DO）、化学的酸素要求量（COD）、透明度  
【陸域】水温、流量、溶存酸素量（DO）、化学的酸素要求量（COD）、透視度
- ・参加機関数 115機関
- ・基準日の前後に実施される調査についても対象とします。

### 2 結果の公表

東京湾環境一斉調査の結果については、令和4年3月中を目途に下記ウェブサイト  
に報告書を掲載する予定です。過去の調査結果についても同ウェブサイトでご覧  
いただけます。

[https://www1.kaiho.mlit.go.jp/KANKYO/TB\\_Renaissance/Monitoring/General\\_survey/index.htm](https://www1.kaiho.mlit.go.jp/KANKYO/TB_Renaissance/Monitoring/General_survey/index.htm)

### 問い合わせ先

東京湾再生推進会議モニタリング分科会事務局

- ・海上保安庁海洋情報部大洋調査課  
中村、福本 03-3595-3635
- ・環境省水・大気環境局水環境課閉鎖性海域対策室  
今林 03-5521-8319

## 参考

- 東京湾環境一斉調査日の潮汐推算について、下記ウェブサイトでご確認いただけます。

[https://www1.kaiho.mlit.go.jp/KANKYO/TIDE/tide\\_pred/5.htm](https://www1.kaiho.mlit.go.jp/KANKYO/TIDE/tide_pred/5.htm)

- 「東京湾再生推進会議」

平成13年12月に都市再生本部の都市再生プロジェクト（第三次決定）として、水質汚濁が慢性化している大都市圏の「海の再生」を図るため、平成14年2月に設置されました（構成員は、関係省庁と関係地方公共団体）。平成15年3月に「東京湾再生のための行動計画」を策定し、平成25年5月に期末評価を実施しました。平成25年からは、「東京湾再生のための行動計画（第二期）」を進めています。

なお、推進会議の下部機関として「幹事会」、「陸域対策分科会」、「海域対策分科会」、「モニタリング分科会」が設けられています。

- 「九都県市首脳会議環境問題対策委員会水質改善専門部会」

平成元年6月の「首都圏環境宣言」を踏まえ、九都県市※（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市及び相模原市）が協調して取り組むべき方策を検討するため、平成元年11月に環境問題対策委員会のもとに設置されました。

東京湾の水質改善に係る下水道の整備、富栄養化対策等に関する事項の調査、検討、情報交換等を行っています。

※平成元年当時は六都県市（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、横浜市、川崎市）

- 「東京湾岸自治体環境保全会議」

昭和48年6月に開催された「東京湾を囲む都市の公害対策会議」において、東京湾の環境保全と広域的対策を図るための早急な機構整備の必要性が提案されたことを受け、昭和50年8月に設立されました。東京湾岸に面する1都2県16市1町6特別区の26自治体で構成され、住民への環境保全に係る啓発や、連带的・統一的な環境行政の推進を目的に湾岸地域の環境保全に取り組んでいます。

- 「東京湾再生官民連携フォーラム」

「東京湾再生のための行動計画（第二期）」では、多様な関係者の参画による議論や行動の活発化・多様化を図るための組織の設立が掲げられました。このことから、平成25年11月に「東京湾再生官民連携フォーラム（以下、フォーラムという）が設立されました。

フォーラムでは、東京湾再生に意欲を持つ多様な人々が集い、現状や課題を理解・共有し、共に解決策を模索し、東京湾の魅力を発掘・創出・発信することにより、東京湾再生の輪を拓げる活動に取り組むこと、そうした活動から育成・醸成された多様な関係者の多様な意見を尊重しつつ総意をとりまとめ、「東京湾再生推進会議」へ提案する役割が期待されています。現在までに「東京湾環境モニタリングの推進プロジェクトチーム」を含め9つのプロジェクトチームが立ち上がっています。